

平成23年11月9日

会員各位

美しい多摩川フォーラム事務局

平成23年度 第1回運営委員会

◆ 11月9日(水)、美しい多摩川フォーラムの平成23年度 第1回運営委員会が開催されました。概要は下記のとおりです。

- ・開催日時：平成23年11月9日(水) 15時～16時半
- ・開催場所：立川グランドホテル 3F ベリタ
- ・出席者：会長、副会長、運営委員(含む代理出席者)、顧問、アドバイザー、オブザーバー等

◎ 第1回運営委員会の概要

1. 開 会

2. 会長挨拶

3. 経過報告 ※はビデオ放映

- (1) 総合教育文化モデル事業開催(6/9、13、16) ※【資料1】
- (2) 多摩川っ子(第4号)発刊(7/11)【資料2】
- (3) 東急百貨店より「ココエコチャリティー」の寄付金贈呈(7/11)【資料3】
- (4) 狛江古代カップ第21回多摩川いかだレース参加(7/17) ※【資料4】
- (5) 日本赤十字社に義援金を送金(7/29)
- (6) 第4回子どもカヤック体験教室開催(7/30) ※【資料5】
- (7) 夏休み親子イベント(リビング多摩連携事業)開催(8/6)【資料6】
- (8) 多摩川1万人の清掃大会参加(8/7)【資料7】
- (9) 第3回炭焼き体験と水辺の交流会開催(8/22) ※【資料8】
- (10) 「美しい多摩川フォーラムの森(青梅)」第2回植樹イベント開催(9/10) ※【資料9】
- (11) 「食と地域の交流促進対策事業」第1回実行委員会開催(9/12)【資料10】
- (12) 「東北・夢の桜街道～桜の札所・八十八ヵ所巡り」対外公表(10/1)【資料11】
東京ビッグサイト・JATA旅博ブースパフォーマンス(10/1～2)【資料12】
美しい山形・最上川フォーラム設立10周年記念講演(10/1)【資料13】
全国信用金庫協会『月刊・信用金庫11月号』に掲載(11/10)【資料14】
- (13) 第4回美しい多摩川フォトコンテストの募集を開始(10/1～12/31)【資料15】
- (14) たまりバー50キロ命名記念・RUN&WALK(10/8) ※【資料16】

- (15) 第4回多摩川一斉水質調査結果報告書完成 (11/1) 【資料 17】
- (16) 第3回美しい多摩川クリーンキャンペーンの開催 (11月) 【資料 18】
～以下、当面の予定～
- (17) 第4回多摩川子ども環境シンポジウムの開催 (12/17) 【資料 19】

4. 意見交換

- (1) 「食と地域の交流促進対策事業」(農林水産省関東農政局交付金事業)について 【資料 10】
- (2) 「多摩川の歌」のCD発送および広報について
- (3) 「東北・夢の桜街道プラン」対外公表および反響等について 【資料 11～14】

5. 会長総括

6. 閉 会

1. 開会 (初参加者紹介および資料確認)

(事務局)

定刻になりましたので、美しい多摩川フォーラム平成23年度・第1回運営委員会を始めさせていただきます。本日は、7月に臨時運営委員会を開催した関係で、格別の協議事項はございません。事務局からの報告事項のほか、意見交換をお願いしたいと考えております。どうぞ、よろしく願いいたします。

はじめに、今回、人事異動等により、初めてご出席される方もいらっしゃいますので、ご紹介させていただきます。

(森林総合研究所 多摩森林科学園長 庶務課長 根本 勝彦 様)

赤間が10月1日付で異動となり、後任が吉丸となりますが、今日はその代理で出席いたしました。よろしく願いいたします。

(衆議院議員 長島 昭久事務所 秘書 矢谷 剛 様)

もともと、森林や河川についての仕事をしておりました関係で、このフォーラムにはぜひ出席してみたいと思っておりました。どうぞよろしく願いいたします。

(公益財団法人東京都農林水産振興財団)

花粉の少ない森づくり運動担当課長 松川 敦 様)

私ども財団では、フォーラム様の取り組みの中でも、「美しい多摩川フォーラムの森(青梅)」のお手伝いをさせていただいております。本日の経過報告の中で、その活動内容をお話させていただければと思っておりますので、よろしく願いいたします。

(クラブツーリズム株式会社 地域交流部 部長 小笠原 護 様)

今日は、こういう場に、オブザーバーとして出席させていただき、誠に有り難うございます。私が所属する地域交流部は、地域との連携を通して様々な形で地域に貢献できないかと日々頑張っております。どうぞよろしくお願いいたします。

(ANAセールス株式会社 東京支店 第一販売部

国内団体セールスグループ マネジャー 福原 光男 様)

今日は、「東北・夢の桜街道プラン」の一端を担うべくお邪魔しました。どうぞよろしくお願いいたします。

(ANAセールス株式会社 東京支店 第一販売部

国内団体セールスグループ グループリーダー 森 秀和 様)

今後、東北のほうで展開される部分について、お手伝いできればと思い、この会に参加させていただきました。どうぞよろしくお願いいたします。

(日本航空株式会社 顧客販売部 第2グループ マネジャー 佐藤 實 様)

「東北・夢の桜街道プラン」で何かお手伝いできることがあればと、皆さまのご意見を頂戴したいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(株式会社 JTБ 法人東京 西東京支店 営業担当部長 横内 恒雄 様)

9月の実行委員会にも参加させていただきましたが、本日はどうぞよろしくお願いいたします。

(事務局)

有り難うございました。それでは、細野会長に開会のご挨拶をよろしくお願いいたします。

2. 会長挨拶

(細野会長)

今日は平成23年度・第1回目の運営委員会です。今日はお話したいことが沢山ありまして、まず、フォーラムの会員数ですが、とうとう1,000の大台を超えました。また、3・11の東日本大震災から、およそ8ヶ月が経過しました。仮設住宅が徐々に完成し、避難所生活の方たちも、少しずつそちらに移っていらっしゃいますが、東北の産業はあまり振るわないこともあり、若者たちが出て行ってしまい、困った状況になっています。我々フォーラムが活動している地域貢献が一番大事で、多摩の地域貢献も大事ですが、困っている人たちにも手を差し伸べる余力を持ちたいというこ

とで、このたび、東北6県の知事さんからもご後援いただき、「東北・夢の桜街道」を組織いたしました。この事業は、10年続けていきたいと思っています。長期的な視点で、東北の街づくりをどうするか、そのお手伝いが出来ればと考えておりますので、ぜひ皆さんのお力添えをいただきたいと思います。

それでは、事務局より経過報告をお願いします。

3. 経過報告（事務局）

前回の臨時運営委員会で、6月5日に実施された第4回多摩川一斉水質調査まで、経過報告をさせていただきました。それ以降に実施された活動につきまして、お手元の資料の表紙に時系列でお示ししております。それでは、その中から特に（1）番、（4）番、（6）番、（9）番、（10）番、（14）番の6つの活動につきましてビデオにまとめておりますので、入口のスクリーンをご覧ください。

- （1）総合教育文化モデル事業開催（6/9、13、16）
- （4）狛江古代カップ第21回多摩川いかだレース参加（7/17）
- （6）第4回子どもカヤック体験教室開催（7/30）
- （9）第3回炭焼き体験と水辺の交流会開催（8/22）
- （10）「美しい多摩川フォーラムの森（青梅）」第2回植樹イベント開催（9/10）
- （14）たまりバー50キロ命名記念・RUN&WALK（10/8）

— ビデオ放映 —

経過報告を続けます。

（10）「美しい多摩川フォーラムの森（青梅）」第2回植樹イベント開催（9/10）※【資料9】 （事務局）

- ・ 本日は、公益財団法人 東京都農林水産振興財団 花粉の少ない森づくり運動担当課長 松川 敦 様にご出席をいただいておりますので、ご説明をお願いします。

（松川様）

先ほどの映像にもありました通り、9月10日に、青梅市立西中学校の生徒さんを中心に、今年度第2回目のイベントをさせていただきました。広葉樹を植えましたが、当日は非常に暑く、生徒さんも大変苦勞していましたが、事故もなく、無事に植樹イベントは終了しました。ただ、植樹の後、晴れの日が続き、土も乾燥していたため、我々財団が、2回ほど散水させていただきましたが、天候には勝てず、若干枯れているものもありました。来年度以降は、下刈りイベントを行っていただく予定ですが、枯れがひどいようであれば、補植のイベントもやれるのではないかと

思っています。

(15) 第4回多摩川一斉水質調査結果報告書完成 (11/1) 【資料17】

(事務局)

- ・ **【資料17】**をご覧ください。6月5日に実施された多摩川一斉水質調査の最終結果報告書が出来上がりました。本日は小倉副会長が所要でご欠席ですが、みずとみどり研究会事務局の佐山様にご出席をいただいておりますので、ご説明をお願いします。

(佐山様)

- ・ 全国水環境マップ実行委員会を実施しており、その一環で「多摩川一斉水質調査」を行っております。今年3月に発生した東日本大震災により、この一斉水質調査を実施すべきかどうか迷ったのですが、東北から参加申込みのあった団体にも1団体ずつ電話をかけ、実施するか否かをご判断いただきましたが、ほとんどの団体で実施していただきました。市民の皆さんが環境に関心を持ち、市民の手でモニタリングを続けることの意義を持っていらっしゃることを改めて実感しました。
- ・ そんな状況を踏まえ、6月5日に多摩川一斉水質調査が実施されましたが、美しい多摩川フォーラムさんでは、昨年の70地点を超え、今年は75地点を実施していただきました。他の団体や市民の皆さんが調査した地点を含め、トータルで394地点の調査を実施し、今日皆さんにお配りしている地図が出来あがりました。地図の見かたですが、青色がきれいな水質、黄色～赤色になると、水質が若干悪いことが視覚で確認できます。裏面のデータですが、今年は、2008年から4年間の多摩川の水質の傾向を一目で見られるように工夫しました。また、多摩川の本流・支流の代表的な地点をピックアップし、水質の変化が分かるグラフを掲載しました。
- ・ こういったデータを蓄積することにより、市民の皆さんが、自分たちが住んでいる地域の川がどういった水質であるかを把握でき、水環境に関心を持っていただけたと思います。

(16) 第3回美しい多摩川クリーンキャンペーンの開催 (11月) 【資料18】

(事務局)

- ・ **【資料18】**をご覧ください。美しい多摩川フォーラムでは、11月をクリーンキャンペーン月間と定め、広域連携による多摩川流域の清掃活動を一昨年より開催しております。今年は昨年の10団体に加えて、新たに昭島市、東京急行電鉄株式会社、株式会社ジェイテクト、日本フィルター工業株式会社、三井住友海上火災株式会社の5団体が参加されることになりました。本日は、4日(金)に清掃活動を実施していただいた、東京急行電鉄株式会社の小林様にご出席いただいておりますので、

ご報告をお願いいたします。

(小林様)

- 我々は、二子玉川駅周辺の再開発を行っておりますが、一部門ですので、大々的なキャンペーンという訳にはいかず、日常清掃活動の延長として参加させていただきました。世田谷区玉川は、7年ほど前から毎月、第一金曜日に、「玉川地域クリーンタウン作戦」を実施しており、玉川町会および企業（東急グループ、高島屋グループ、JTなど）が参加しています。11月は、美しい多摩川クリーンキャンペーンに呼応いたしまして、従来は人数が少ないのですが、我々東急グループに声をかけ、約20名で清掃活動を実施しました。清掃場所は、二子橋から二子玉川駅までです。再開発前は、ペットボトルや缶が多かったのですが、最近では、世田谷区立二子玉川小学校の生徒さんたちが、クラスごと、学年ごとに参加してくれるようになったためか、街の人たちもゴミを捨てなくなり、昔とは見違えるほどきれいになってきました。今後も、こういった活動を広めていきたいと思っています。

(17) 第4回多摩川子ども環境シンポジウムの開催（12/17）【資料19】

(事務局)

- 【資料19】をご覧ください。今年も12月17日に、第4回多摩川子ども環境シンポジウムを開催いたします。例年、子どもたちによる進行で、多摩川の環境学習に関する発表が行われています。現在、7団体の発表が決まっており、2、3団体については調整中です。今年度初参加の団体で、東村山第二中学校吹奏楽部の生徒さんが、会の冒頭で「多摩川の歌」を発表する予定になっています。まだまだ参加団体を募集しておりますので、よろしくお願いいたします。

以上、事務局からの経過報告になります。細野会長、よろしくお願いいたします。

(細野会長)

事務局から経過報告がありましたが、何かご質問・ご意見はございますか。

(渡邊運営委員)

2点申し上げます。1点目ですが、第2回植樹イベントに参加いたしました。どれぐらい根付いているのか気になったため、後日見に行きました。根付いている部分もありましたが、つるで覆われている部分もあるのが気になりました。

2点目は、多摩川一斉水質調査についてですが、データを確認したところ、去年は数値の高くないところが、今年は非常に高くなっている部分があるため、地図と照らし合わせながら現地を見に行ってきました。すると、例えば、数値の高い

「くじら公園」については、昭島の下水処理場の手前なので、採水したものに下水処理場からの水が含まれている可能性があります。そういった箇所が3カ所ほどありました。来年度以降は、採水する場所を明確にしたほうがいいのではないかと感じました。

(細野会長)

有り難うございました。「美しい多摩川フォーラムの森（青梅）」の今後の予定についてはどうなっていますか。

(事務局)

来年度以降は、年2回程度、下草刈りイベントを開催する予定ですが、先ほど松川様から捕植のお話もありましたので、詳細については東京都農林水産振興財団さんとご相談しながら進めていきたいと思えます。

(細野会長)

多摩川一斉水質調査について、佐山さんのほうで何かご意見ありますか。

(佐山様)

採水する場所についてのご意見ですが、やはりなるべく毎年同じ地点、同じ条件で採水していただくのが前提になっています。今回採水した方が、前回と同じ条件で採水しているのか、同じ地点で採水していても、川の深さが足りないと、バケツで水をつくった際に、川底の泥を巻き上げて捨ってしまう場合もあります。

来年度以降は、そういったことにも注意していただきたいと思えます。

(細野会長)

他にご質問、ご意見はございますか。

(山崎運営委員)

多摩川一斉水質調査の件ですが、地図は色分けで分かりやすいのですが、可能であれば、各地点を数字で比較出来るものがあれば良いと思えます。

(佐山様)

ご意見有り難うございます。いまご指摘いただいた数値化の件ですが、地図上の点は手作業で打っているわけではなく、あらかじめデータとして整備していますので、それを表にすれば良いだけかと思えますが、単純に数値の羅列をしてしまうと、見づらい部分もありますし、美しい多摩川フォーラムさんにおいては、毎年同じ地点を調

査されているので、経過を把握することができますが、それ以外の約300地点については、一般の方が毎年同じ地点で調査をしている訳ではないので、例えば同じ橋の名前でも、数値が全く違っている場合もあります。ですが、ご要望があれば、表を作成することは可能ですので、より良い川づくりのためにデータを作成させていただきます。よろしくお願いいたします。

(細野会長)

有り難うございました。他に何かご質問、ご意見はございますか。ないようでしたら、意見交換に進めます。はじめに事務局から説明をお願いいたします。

5. 意見交換

(1) 「食と地域の交流促進対策事業」(農林水産省関東農政局交付金事業) について【資料10】(事務局)

- ・ 【資料10】をご覧ください。この事業は、8月に交付決定が下り、9月12日に第1回・実行委員会を開催しました。議事メモを添付しておりますので、後ほど目を通していただければと思います。
- ・ そもそも「食と地域の交流促進対策事業」とは何かと申しますと、観光と連携した、都市農山村の交流促進(グリーンツーリズム)を推進していくものです。具体的には、奥多摩の自然・食・文化を活かした多摩川上・中・下流域間の観光交流を促進していくもので、地域の人口が減少していく中、交流人口を増やす観光ビジネスを創出していきたいと考えています。地元の特産品、物産品を開発し、美しい多摩川フォーラムの広域ネットワークを連携して、魅力的な地域づくりができればと思います。観光交流によって、少しでも地域経済が活性化し、持続可能で活力ある地域社会の実現を期待しています。
- ・ 取組内容は、①地元の特産品の研究・開発(奥多摩郷土弁当、モダン・スイーツ)、②地元の昔話や文化資源の掘り起こしと実演、③食と文化の交流イベントの開催、④当フォーラムの広域連携ネットワークを活用した交流人口増加による地域活性化です。総事業費(案)は、平成23年度が2,122千円、平成24年度が2,498千円です。
- ・ 年度内の今後のスケジュールですが、9月12日に第1回実行委員会が開催され、1月11日に第2回実行委員会、2月28日に第1回「食と文化の交流イベント」シンポジウムが開催される予定です。今回のシンポジウムでは、弁当・スイーツの試作、あるいは試作前の素材について発表する予定です。弁当・スイーツの完成は平成24年度になります。本日は、本プロジェクトの実行委員長であります、小澤運営委員様にご出席いただいておりますので、一言お願いいたします。

(小澤運営委員)

ただいま説明していただいた通りです。1度実行委員会を開きましたが、私的に問題と感じたのは、最初に計画（作文）を作って、それを提出し、それが認められて交付金をいただいているので、その計画（作文）に則った活動をしていかなければなりません。対象となるのは、お弁当、スイーツ、民話の掘り起こしですが、お弁当については、食材の提供、量、安定性について問題がありますし、いつ・どこで・誰がそのお弁当を食べるのかについて、これから詰めて行くのが大変かなと思います。奥多摩の食材を皆さんに知っていただく絶好の機会でもありますし、民話についても、奥多摩の歴史を皆さんに確認していただく良い機会になろうと思いますので、努力していきたいと思います。

(事務局)

有り難うございました。同じく実行委員で、実務を担当されている、澤田アドバイザーにも一言お願いいたします。

(澤田アドバイザー)

小澤運営委員がおっしゃった通り、スケジュール通りに動かなければならない難しい面があります。例えば、農水省からの指示で、「食と地域のアンケート」を最低でも200枚集める必要があります。観光で人を集めないと、お弁当を売ることができませんので、都心部、県外の方を対象にアンケートを実施し、回収して資料にしなければなりません。

いま、奥多摩では熊が出没しています。高齢化により、柿の木が手入れされず、放置されているため、柿を食べに里に下りてきているのです。そこで、渋柿を使った一夜漬けの漬物を作ったら、美味しいものができました。また、大麦の粉を使った麦きりという、江戸時代の食べ物も作っています。お弁当については、店内で食べるもの、テイクアウトで食べるものの2通りで考えています。現時点での進捗状況をご報告しました。

(奥多摩町 加藤様)

奥多摩町の過疎対策、観光産業振興対策に、多大なるお力添えをいただき、町としても精一杯ご協力させていただきたいと考えています。今日は旅行会社さんも参加されていますので、少し発言させていただきますが、奥多摩町は、広大な山林を所有しており、東京都の全面積の1割が奥多摩町です。その中の何万という柿や柚子が、高齢化と過疎化により、収穫されずに地面に落ちています。幸い奥多摩町は、徐々に観光客が増えている傾向にあるので、袋に詰めてあげても良いのではないかと案も出ています。

4、5年前、学童が通う道に熊が出没するようになり、「困っています、もいください」というタイトルで参加者を募り、渋柿を採って皮を剥き、干し柿にして、完成したら参加者へ配達するというイベントを開催したところ、30人の募集に対し、関東一円から1,000人以上の応募がありました。日本人は律義な国民性なのか、困っている人がいると助けたいと思う人が多いのでしょうか、反響には大変驚きました。

また、第2弾を求める声もあり、「山のふるさと村」にある柿の木で実施したところ、これも爆発的な人気になりました。こんな状況ですので、旅行会社の皆さま、何か良い知恵がありましたら、柿の木でも柚子の木でも提供いたしますので、イベントを仕掛けていただくと有り難いと思います。

週末に届いたビックニュースですが、町内の主婦が集まる料理研究グループ「たまもの」が、東京都主催の料理コンテストでグランプリを受賞しました。こういったグループも町内にありますので、ぜひ企画に参加させていただき、バラエティーに富んだ地元食材の掘り起こしをしていきたいと思います。

また、グリーン・ツーリズム検討委員会も数年前に立ち上がっております。グリーン・ツーリズムを突き詰めていくと、旅行ではあっても、地元で昔から伝わる食材の掘り起こしにあり、この事業の趣旨にも合致していますので、全町を挙げてこの事業に協力をしてまいりたいと思いますので、今後ともよろしく願いいたします。

(細野会長)

旅行会社さんを含め、色々な業種の方がそろっているのがフォーラムの良いところだと思います。ぜひ、「食と地域の交流促進事業」に関して、旅行会社さんにもご協力をお願いしたいと思います。この件に関し、何かご質問、ご意見はございますか。

(山崎運営委員)

「食を通じて観光を推進したい」のであれば、JTBさんが実施している「旅育！たびいく」にマッチした良いものではないかと思います。

ところで交付金は、みんなにばら撒く事業なのでしょうか、皆に還元するための事業なのでしょうか。JTBさんの「旅育」のように、参加される方から費用をいただき、業務としてやるのか、それとも交付金がある間だけやる事業なのでしょうか。

(事務局)

今回の事業については、関東農政局さんでも初めての交付金事業ということもあり、計画に詳細な予算書を添付し、承認をいただいています。交付金に対する使い道に関しても、細かい規制、ルールがございます。答えになっているかどうかは分かりませんが、計画に沿った細かい予算書に基づいた交付金が下りることになっています。

(2) 「多摩川の歌」のCD発送および広報について

(事務局)

- ・ CD完成についてはすでにご報告をさせていただきました。今月、多摩川流域の小中学校約850先に、CDを発送する予定です。発送前には、マスコミ等に広報をさせていただく予定です。
- ・ DVDについても制作を始め、来年1月末を目途に完成を目指しています。本来であれば、この時間に、マスコミ等への広報について、皆さまからご意見を賜りたかったのですが、お時間の都合もありますので、何か良いアイデアがあれば、後日で結構なので、ぜひ事務局までご連絡をお願いいたします。

(3) 「東北・夢の桜街道プラン」対外公表および反響等について【資料11～14】

(事務局)

- ・ 【資料11】をご覧ください。前回6月の活動部会の意見交換において、このプランの概要を説明させていただき、7月の臨時運営委員会で承認されました。そして7月と9月の実行委員会を経て、10月1日の対外公表に至りました。お配りした資料には、対外公表のペーパー3枚と、チラシ2枚が添付されております。
- ・ 対外公表につきまして、【資料12】と【資料13】をご覧ください。10月1日に、東京と山形の2カ所で対外公表を行い、東京では東京ビッグサイトで開催された「JATA旅博」で、山形では山形グランドホテルで開催された「美しい山形・最上川フォーラム設立10周年記念事業」の記念講演にて、同時に「東北・夢の桜街道プラン」を公表しました。
- ・ 「JATA旅博」については、東北観光推進機構さんよりお声掛けをいただき、ブース・パフォーマンスという形で、今回のプランの趣旨・概要を、平野啓子さん出演の1本のビデオにまとめ、1日2回、2日間で計4回、会場にてプレス発表をしました。初回放映前には、細野会長にご足労いただき、スクリーンの前でご挨拶を賜りました。山形では、宮坂事務局長が記念講演を行い、その中でプレス発表を行いました。
- ・ チラシ2枚をご覧ください。1枚目には、東北6県の代表的な桜の札所の写真が掲載されています。チラシ裏面には、桜の札所・八十八カ所の一覧があり、下段には、東北6県の知事の写真が掲載されています。そして具体的なイベントとして、2枚目のチラシをご覧ください。来年4月21日(土)には、1番札所である福島県三春町の三春滝桜で、平野啓子副会長による語り会がすでに決定しています。イベントは、1回にとどまることなく、今後10年間、少なくとも毎年1回ずつ、東北6県の札所のどこかで開催する予定です。
- ・ 続いて、新聞記事をご覧ください。対外公表後、大きな反響があり、各メディアから取材依頼が多数寄せられ、テレビ朝日の情報番組「ワイド!スクランブル」で取

り上げられたほか、新聞各社にも記事が大きく掲載されました。今日は主なもの(朝日新聞朝刊、山形新聞、日刊スポーツ、読売新聞)のみご紹介させていただきます。また、先週金曜日には、FMラジオ局J-WAVEの番組「Jam The World」で、宮坂事務局長が5分間の電話生出演を果たし、このプランをPRしました。

- これから、「JATA旅博」で放映したビデオを皆さんにご紹介しますので、スクリーンをご覧ください。

— ビデオ放映 —

(事務局)

いかがでしたでしょうか。細野会長よろしく申し上げます。

(細野会長)

本日は、旅行会社の方々に来ていただきましたので、ご意見、あるいはどういう試みをなさっているのかをご紹介いただきたいと思います。まずはANAセールス株式会社さんからお願いします。

(ANA 福原様)

美しい多摩川フォーラムさんからこのお話をいただいた時、いたく感銘し、我々ANAセールスおよび本体であるANA共に、何か出来ることはないか、早々に検討をさせていただきました。

詳細については、詰めている最中のため、お話をさせていただく段階ではありませんが、1点目のポイントは、北は北海道から、南は沖縄までのお客様に、この「東北・夢の桜街道」の情報をいかに告知出来るかです。2点目は、その年によって桜が咲く時期が異なりますが、いかにお客様が来やすくなるか、旅行商品を設定することです。3点目は、航空会社としての輸送面です。この3点をポイントに、詳細を詰めている段階です。

桜の札所・八十八カ所は、当然一回で回れません。色々な方に、10年という長い期間で巡っていただくには、根を生やすことが一番のポイントだと思いますので、色々ご相談させていただきたいと思います。

(クラブツーリズム 小笠原様)

私は、生れも育ちも東北でして、今回の震災でも、知り合いを7名ほど津波等で失い、意気消沈しておりましたが、こういうお話を聞き、「ぜひ東北をよろしくお願したい」というのが実感です。

このプロジェクトを新聞で読み、すぐに事務局へご連絡を差し上げ、ぜひともご支援したいと申し出ました。「東北・夢の桜街道」は、今のところ八十八カ所の“点”

になっています。それを“線”にした本当の『街道』を、皆さんと一緒に作っていき
たいと思っています。ANAセールスさんもおっしゃったように、東北の桜の開花時
期は、4月初旬の福島から、北は竜飛岬の桜まで、5月連休までとなります。その中
で、八十八カ所を一度に回るのは不可能に近いので、「東北・夢の桜街道～福島〇〇
ルート」や「東北・夢の桜街道～山形〇〇ルート」などのルートをたくさん作るのが
良いのではないかと、社内では話しております。もちろん事務局や皆さんともご相談
の上ですが。

クラブツーリズムは、シニアが専門でして、例えば東海道五十三次を、日本橋から
京都の三条まで5年かけて歩くお客様や、奥の細道（千住～大垣）1,300キロを
5年かけて歩くお客様など、色々なお客様の層を持っておりますので、そういったも
のと併せて、「東北・夢の桜街道」をご支援していきたいと思っております。

(JTB 横内様)

私どもの現在の取り組み状況ですが、最終的には全国展開となる中で、まずは第一
歩として、東日本発をスタートにしようと考えております。ターゲットとしては、個
人と団体の2つに分かれると思いますが、我々の取り扱い形態としては、個人に対し
て「エース」という商品があり、これでの商品化を考えています。商品サイクルは
4月～3月ですので、4月がピークとなる東北の桜は来年度の商品になり、いまま
さに商品の詰めの中です。

中身について掻い摘んで説明しますと、「美しい多摩川フォーラムさんが絡んだ」
ということをどこまで出すかはまだ分かりませんが、多摩川フォーラムさんと最上川
フォーラムさんとの関わりを無視するわけにもいきませんし、川繋がりということで、
最上川を絡めるのが良いのではないかと考えています。先ほど、クラブツーリズムさ
んから、「点を線に」というお話がありましたが、八十八カ所の中からベストなもの
をチョイスし、最善のコースどりを検討しております。また、今日は大谷桜守もご出
席されていますが、桜を“見る”だけではなく、解説付きで“観る”ことや、旅行先
とはいえども、桜の木の下でお弁当を広げるのも良いのではないかと等、色々なアイ
デアを揉んでおります。桜の札所・八十八カ所に色々な付加価値をつけながら、検討を
している最中です。商品発表は、1月後半から2月となります。

(JAL 佐藤様)

10年という期間の中で、コースづくりをどれだけ充実させていくかが一番重要だ
と思います。それには、現地の方のご意見等も伺いながら、色々なコースをまんべ
んなく作りこみたいと思っています。私ども輸送機関として、そこにアクセスするには
どんな飛行機があるのか、また、飛行機に限らず、どんなバス、あるいは鉄道を利用
したら良いのか、アクセスに関しては私どもの方でお伝え出来ることのあるのではな

いかと考えています。また、告知に関しては、私どものホームページがあるので、さらにバナーを張り付ける等、色々な形でお手伝いできると思っています。まずはコースづくりをどのように充実させていくかというのがひとつの課題だと考えています。

(細野会長)

有り難うございました。恐らくこの事業は、復興・復旧とも関わりがあり、10年ほど継続したいという強い意志を持っておりますので、皆様のご協力をお願いいたします。本日もご出席いただけなかった、三栄書房さんからメッセージをいただいておりますので、事務局からご紹介をお願いいたします。

(事務局)

【三栄書房 高岡編集長より】日本全国の桜名所を紹介するビジュアル・ガイド「大人の桜旅」では、「東北・夢の桜街道プロジェクト」に賛同し、来年2月上旬発売予定の「大人の桜旅2012」の誌面において、このプロジェクトをご紹介するとともに、別冊で「東北・夢の桜街道～オフィシャル・ガイドブック」の制作・発行を計画しています。選定された東北6県の桜の札所・八十八ヵ所を一冊にまとめ、それぞれの桜の札所がどのような場所なのか、歴史や見どころ、交通アクセス、桜まつりの予定など、ひとつひとつ詳しく紹介する予定です。実際の旅行に携帯できる、ハンディなサイズの中に、情報をぎっしり詰め込んだガイドブックになる予定です。このガイドブックは、来年2月下旬発売予定で、定価980円、A5判全96ページ（予定）です。

(細野会長)

本当はもっと皆様のご意見をいただきたいのですが、時間が限られていますので、メールや電話で事務局にお寄せいただきたいと思っております。

6. 会長総括

(細野会長)

森田副会長の代理で、青梅信用金庫 青木専務理事からご挨拶をお願いいたします。

(青木様)

本日は、副会長の森田が出張しておりますので、代理で出席させていただきました。第1回・運営委員会でしたが、お忙しい中をご出席いただき、誠に有り難うございました。また、先ほどから貴重なご意見をお寄せいただき、本当に有り難うございます。まだまだご意見をいただきたいところではありますが、お時間の関係もございました。

で、事務局に忌憚のないアドバイスをいただきたいと思います。

「東北・夢の桜街道」の件については、10月にプレス発表をしましたが、昨日、信金業界では、東北の協会と東京の協会の連名で、全国信用金庫の理事長宛に後援依頼を発信しました。今後、全国の信用金庫からの反応を期待するところでございます。今後も皆様のご支援を賜りたいと思いますので、よろしく願いいたします。

本日は有り難うございました。

(細野会長)

今日の総括を一言で申し上げます。東北地域は、この震災がなくても、衰退、停滞の傾向がありましたが、震災を機に、そのスピードが速まっています。美しい東北を、私たちの組織を挙げて応援していくことが、日本の再生のために非常に重要なことだと思っていますので、ぜひ皆さまのお力をお借りしたいと思います。10年、あるいは20年かかるかもしれませんが、総力を挙げて支援していきたいと思っています。

7. 閉 会

(細野会長)

それでは、第1回・運営委員会を終了いたします。有り難うございました。

以 上